

いじめ・非行をなくそう標語最優秀賞作品を紹介



(順不同)

やめようよ ことばもぶきになるんだよ
高橋 丞(大石田南小学校)

大丈夫? その一言が 光を照らす
青柳 実子(大石田小学校)

みんなにね やさしくしたいな まずはぼく
今野 李翔(大石田北小学校)

「心」はね 一度割れたら 直らない
有路 健生(大石田中学校)

「ありがとう! 家族の絆 キャンペーン」エッセイの最優秀賞と特別賞を紹介



(順不同)

最優秀賞(大石田町長賞)
「僕の勝ち飯」 矢作 蒼梧(大石田小学校)

特別賞(審査委員長賞)
「僕の家族」 神部 楓(大石田小学校)

特別賞(大石田町青少年育成町民会議賞)
「わたしの家族」 斉藤 結菜(大石田南小学校)

特別賞(公益財団法人モラロジー道德教育財団賞)
「あこがれのお父さん」 星川 琳太郎(大石田北小学校)

「大石田検定」ができるまで

大石田検定は、大石田中学校の総合的な学習の時間で生徒自身が実際に大石田かるたに由縁のある場所や町内の歴史を知る方にインタビューなどを行い、完成しました。検定は、初級から上級までのクイズがあり、大石田の歴史や文化を知ることができます。



町青少年育成町民会議
五十嵐 智志会長

新聞記事で虹のプラザで行われた「子どもサミット」の記事を読みました。「あいさつ」をもっと良くするために「学年を越えたあいさつ交流」など、子どもたちが自ら考え、良い気付きにつながっていると感じました。「大石田検定」では、子どもたちが自ら行動し、取り組んだことで、大石田への愛が伝わる素晴らしい発表でした。

明日の大石田町の未来を担う子どもたちが、心身ともに健やかで、人間性・社会性豊かに成長し、地域や社会の一員として自立的・主体的に生きることは、私たち大人の願いでもあります。

大石田町青少年育成町民会議では、子どもたちの健やかな成長をサポートするための育成運動の輪を広げています。

子どもたちが周りに対してより良い心遣いを身に付け、明るく楽しい学校生活を過ごすことができるよう、地域で支え合うことで青少年の育成につながればと願っています。



大石田町青少年健全育成町民集会

特集

夢を描く 未来をつくる



町青少年健全育成町民集会が、12月14日(土)に虹のプラザ「なないろホール」で行われ、各地域の方や団体の代表者、大石田中学校の生徒、教育行政関係者など約100人が参加しました。

集会の冒頭では、大石田中学校一年生の総合的な学習の中で作成した「大石田検定〜大石田町の探求活動を通じて〜」を出席者参加型のアトラクションとして発表しました。これは、大石田かるたを基に現地に赴き、地域の方々から話を聞き作り上げたものです。

その後、「いじめ・非行をなくそう標語」作品の表彰、「ありがとう! 家族の絆キャンペーン」エッセイ入賞作品表彰の後、優秀賞の作品が発表されました。

大石田町青少年育成町民会議とは?
大石田町青少年育成町民会議は、啓発活動や下校時安全パトロール、あいさつ運動などによる地域社会環境づくりの推進活動を行っており、未来の担い手である青少年の健やかな成長をサポートするために青少年に関わる各種団体や地域リーダーの方々を中心に約50名の会員で構成されています。